

「ロイヤル・スタイル」

～神話となって輝く英王室の女性たち そのファッションと人生～



中野香織氏

エッセイスト・服飾史家。

1962年生まれ。東京大学文学部および教養学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。89年、94年英国ケンブリッジ大学客員研究員。2008年より明治大学国際日本学部特任教授。過去2000年のファッション史から最新モード事情まで、幅広い視野から研究・執筆。著書に『モードとエロスと資本』（集英社新書）、『愛されるモード』（中央公論新社）、『ダンディズムの系譜 男が憧れた男たち』（新潮選書）ほか多数、翻訳書にジャネット・ウォラク『シャネル スタイルと人生』（文化出版局）、アン・ホランダー『性とスーツ』（白水社）など。『英和ファッション用語辞典』（研究社）の監修も行なう。オフィシャルブログ HYPERLINK "http://www.mode.kaori-nakano.com/" http://www.mode.kaori-nakano.com/

2011年4月29日 ウェストミンスター寺院で、ウィリアム王子とキャサリン妃の結婚式が厳かにとりおこなわれました。メディアを通じてその模様をご覧になった方も多かったのではないかと思います。実際に世界の約20億人がこの世紀のロイヤルウエディングに釘付けになりました。

ブリリアントクラブでは今回、服飾史に詳しいエッセイストで英国通の中野香織さんをお迎えし、華麗なるロイヤルウエディングの模様や歴代の英国王室の女性たちについてお話を伺います。

ウィリアム王子の真紅の軍服とキャサリン妃のレースのドレスは、今も鮮やかに蘇ってくるほど、現代的なセンスと英王室の伝統の威厳に満ち溢れていました。また、式に参列された方々のカラフルでスタイリッシュなフォーマルドレスも目を見張るものがありました。特に、“帽子の文化”は日本人には馴染みがないだけに、興味深くご覧になった方も多いことでしょう。

キャサリン妃が身につけられたウエディングドレス、アクセサリー、ブーケなどに隠された意味や、歴代のイギリス王室にまつわるウエディングの物語、さらにはダイアナ妃、エリザベス2世（現女王）、クイーンマザー、ヴィクトリア女王、ウィンザー公爵夫人（ウォリス・シンプソン）、マーガレット王女（女王の妹）など、英国王室を華やかに彩った女性たちのドラマチックな人生についてもご紹介させていただきます。当日は写真映像もご用意いただけるようです。秋の午後、中野香織さんによる華麗なる王室のエピソードを、ぜひお楽しみください。皆様のご参加をお待ちしております。

<開催概要>

■日程: 2011年10月22日(土) 14:00 ~ 16:00

■会場: ホテルニューオータニ東京 ザ・メイン16階 LAPIS-1 (ラピス-1)

東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL 03-3265-1111

<最寄り駅>

- ・赤坂見附駅(地下鉄 銀座線・丸ノ内線) 紀尾井町口 3分
- ・永田町駅(地下鉄 半蔵門線) 7番口 3分
- ・麹町駅(地下鉄 有楽町線) 麹町口 6分
- ・四ツ谷駅(JR中央線・総武線、地下鉄丸ノ内線・南北線) 麹町口・赤坂口 8分

■会費: 6,000円(ブリリアントクラブ会員)

8,000円(会員以外の方)

ご友人をお誘いいただいても結構です。

■定員: 30名

お申込、お問合せはメール(brc@e-manner.info)
またはお電話(03-5212-2600)にて
「日本マナー・プロトコール協会ブリリアントクラブ係」まで
お願いいたします。

